

内蔵光磁気ディスクユニット使用上の注意

このたびは、内蔵光磁気ディスクユニットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本装置をご使用になる上での注意事項を下記に記載させていただきましたので、よくお読みの上お使いください。

平成 14 年 6 月
富士通株式会社

PRIMERGY S10 (バックアップキャビネット) 使用時の注意

PRIMERGY S10 を使用して、本体サーバへ内蔵光磁気ディスクユニット（本装置、以下内蔵 MO と呼びます）を接続する場合、不具合が生じる可能性がありますので、次の方法に従い、設定を変更願います。

設定変更項目

内蔵 MO の SCSI Device ID に対して、同期転送を行わないように、下表の「設定値」欄に記載された値に設定変更願います。

設定方法については、お買い上げいただきましたサーバ側取扱説明書に記載されています。

取扱説明書のどの部分に書かれているかは、下表の対応するサーバ名の「取扱説明書確認部分」欄をご覧ください。

（なお、取扱説明書に、「変更禁止」と記載されている場合もありますが、設定変更してください）

●オンボード SCSI コントローラ ～ S10 接続時

サーバ名	取扱説明書確認部分	設定値	
		変更前 (Default)	変更後
PRIMERGY N400	4章 セットアップ † SCSI Select ユーティリティを使う † Configure/View Host Adapter Setting メニューの詳細 † SCSI Device Configuration † <input checked="" type="radio"/> Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	ASYN
PRIMERGY N800 ・本サーバは出荷時期によって、設定方法が異なりますので、サーバに添付された取扱説明書の記載内容（左記どちらか）に従って、設定変更ください。	4章 セットアップ † SCSI コンフィグレーションユーティリティを使う † Utility メニューの詳細 † Device Selections † <input checked="" type="radio"/> Sync Rate (MBytes/sec)	80	Off
	4章 セットアップ † SCSI コンフィグレーションユーティリティを使う † Fast!UTIL Options メニューの詳細 † SCSI Device Settings † <input checked="" type="radio"/> Negotiate Sync	Yes	No

●SCSI カード ～ S10 接続時

SCSI カード	設定変更方法	設定値	
		変更前 (Default)	変更後
PG-126 PG-128 PG-130L	次ページの PG-128 の設定変更例を参照ください。	160	ASYN

内蔵 MO の表示

設定変更画面では、内蔵 MO は、次のように表示されます。

内蔵 MO が接続されている SCSI Device ID を確認する際の目安としてください。

装置型名	設定画面での表示
PG-PD237, PGBPD237	Fujitsu MCE3064SS
PG-PD239, PGBPD239	Fujitsu MCE3130SS

■ PG-128 の SCSI Device Configuration 設定変更方法 ■

(注) 下記の画面表示例は、PG-128 (SCSI カード) の BIOS 版数によって多少異なる場合があります。

他の SCSI カード (PG-126, PG-130L) についても、操作はほぼ同様です。

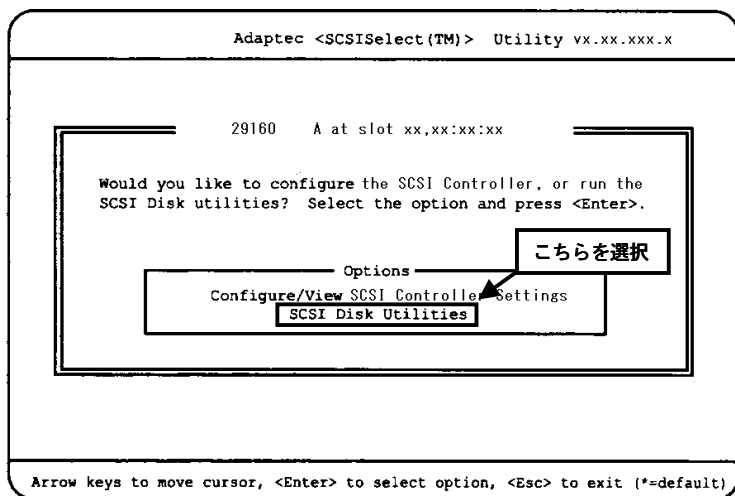
1. サーバ起動時 (POST 実行中)、次のように表示されている間に、[Ctrl] + [A] キーを押すと、SCSI Select ユーティリティのメインメニュー画面が表示されます。

```
Adaptec SCSI BIOS vX.XX.XXX.X
(c) 2000 Adaptec, Inc. All Rights Reserved.
<<< Press <Ctrl><A> for SCSISelect(TM)Utility >>>
```

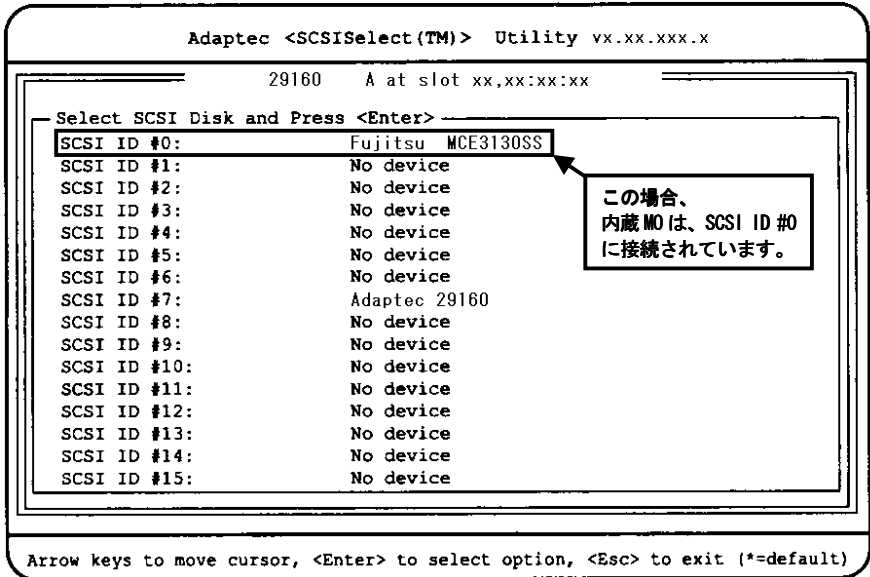
次の画面が表示される場合は、[Enter] キーを押して、SCSI Select ユーティリティのメインメニューに移行してください。

```
Adaptec < SCSISelect(TM) >Utility vX.XX.XXX.X
29160 A at slot xx,xx:xx:xx
```

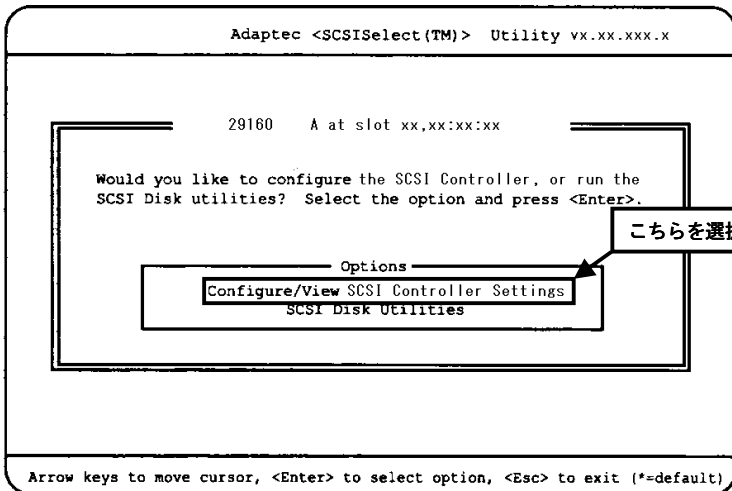
2. 下記 SCSI Select ユーティリティのメインメニューにて、「Options」の中の、「SCSI Disk Utilities」にカーソルを合わせて、[Enter] キーを押します。



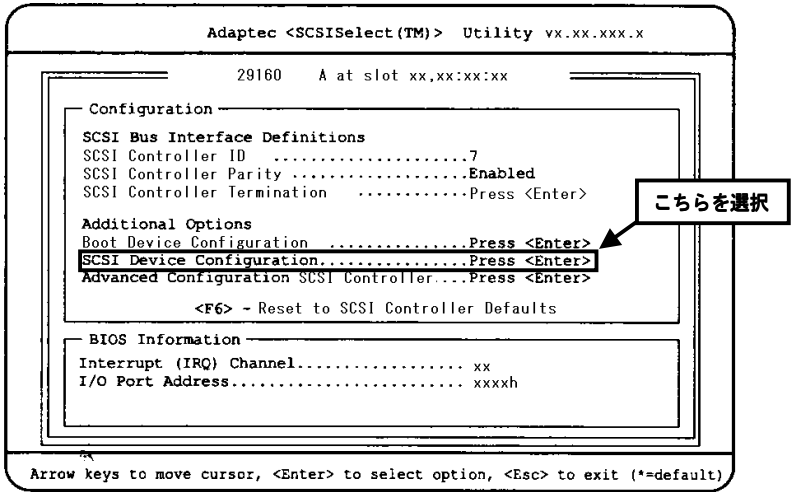
3. 内蔵 MO が接続されている SCSI Device ID を確認し、[Esc] キーを押します。



4. 次に、SCSI Select ユーティリティのメインメニューにて、「Options」の中の、「Configure/View SCSI Controller Settings」にカーソルを合わせて、[Enter] キーを押します。

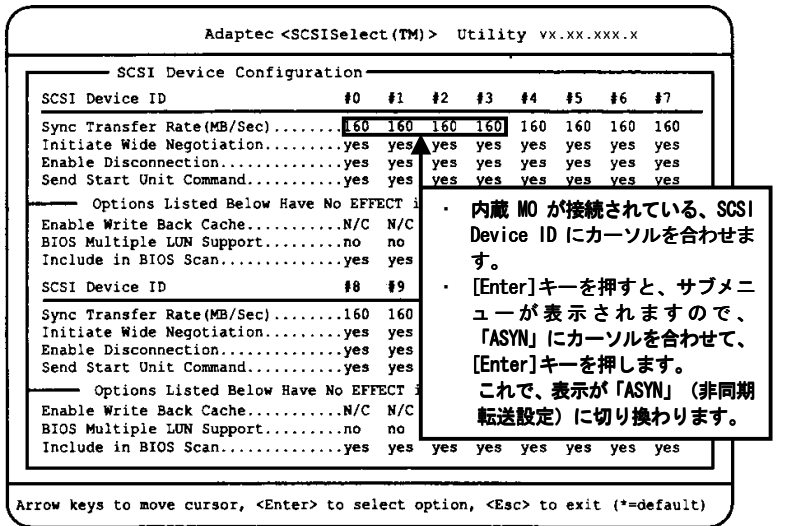


5. 「SCSI Device Configuration」にカーソルを合わせて、[Enter]キーを押します。



6. SCSI Select ユーティリティのサブメニューが表示されますので、接続されている内蔵 MO に対する「Sync Transfer Rate(MB/Sec)」の値を変更します。

- 「Sync Transfer Rate(MB/Sec)」の欄の、内蔵 MO が接続されている SCSI Device ID の部分にカーソルを合わせて、[Enter]キーを押します。
- サブメニューが表示され、内蔵 MO に対する転送速度が選択可能となりますので、「ASYN」にカーソルを合わせて、[Enter]キーを押します。これで、選択した部分が、「ASYN」（非同期転送設定）に切り換わります。



7. 設定が終わったら、[Esc]キーを二回押します。
8. 変更した設定を保存するかどうかのメッセージ画面（[Save Changes Mode?]）が表示されますので、設定を保存して SCSI Select ユーティリティのメインメニューに戻る場合は、[Yes]にカーソルを合わせ、保存しないで戻る場合は、[No]にカーソルを合わせてから、[Enter]キーを押します。
9. SCSI Select ユーティリティのメインメニュー画面で、[Esc]キーを押します。
次に SCSI Select ユーティリティを終了するかどうかのメッセージ画面（[Exit Utility?]）が表示されず（別画面になる場合は、もう一度[Esc]キーを押します）ので、終了する場合は、[Yes]にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。
10. 再起動する旨の通知メッセージ「Please press any key to reboot」が表示されますので、どれかキーを押します。
「Boot Menu」が表示される場合は、正しいブートデバイスにカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

システムが再起動し、設定作業は終了です。